

ゆくはし市議会だより

令和4年12月行橋市議会定例会



PICK UP

令和4年度 行橋市一般会計補正予算を可決

令和4年12月定例会において、第5次補正、第6次補正の2議案の合計で、歳入歳出予算総額を、557,540千円増額し、32,072,319千円とする一般会計補正予算が上程されました。主な内容は物価高騰に対応する事業などに係る経費が計上されています。12月23日の本会議で採決が行われ、可決されました。

Index

12月定例会の概要…2 / 委員長報告…3～4
一般質問…5～11 / 視察研修報告…12～14
議会日誌…15 / 議決結果…16

令和5年1月29日(日)、ゆくはしシーサイド HALF MARATHON が3年ぶりに開催されました。3種目合計2,364人が出場し、冬の京都路を駆け抜けました。

次回3月定例会は



2月28日(火) 10時 開会予定

詳細は議会事務局へ

お問い合わせください。

行橋市議会事務局 TEL0930-25-9633

12月定例会傍聴者 / 延べ57人



令和4年 12月定例会

定例会の概要

令和4年12月第15回行橋市議会定例会は、12月6日から12月23日まで18日間の会期で行われました。

この定例会では、児童クラブ負担金や学校給食費の未納の請求に係る訴えの提起についての3件の報告を受け、市長や市議会議員、市職員などの給与等について、人事院勧告に準じて改正するものや、市の組織を定める事務分掌条例の一部改正といった条例10件、市道路線の認定、廃止、変更等1件、令和4年度一般会計補正予算などの補正予算7件、市民体育館外部改修工事の変更契約1件、人事案件1件の合計20件の市

12月定例会議案内容

報告	3件
条例	10件
市道の認定等	1件
契約	1件
補正予算	7件
人事案件	1件
特別委員会の設置	1件
意見書	2件

12月定例会の日程と概要

12月6日 本会議（開会）

会期決定（12月6日～12月23日）

議案の上程・提案理由の説明

市長が提出した議案の提案理由を説明

緊急質問

12月12～13日 本会議

一般質問

議員が市政全般について質問し、市長などが回答

詳しくは5ページへ

12月14日 本会議

一般質問

新たな議案の上程、提案理由の説明

議案の質疑、委員会付託

請願の上程、委員会付託

12月14～16、19日 常任委員会

常任委員会（総務、文教厚生、建設）で所管ごとに執行部から説明を受けて審査し、各委員会での可否を決定

12月23日 本会議（最終日）

審査終了事案の上程

委員長報告

各常任委員長が委員会での審査結果を報告

質疑・討論・採決

委員長報告への質疑及び反対・賛成討論を行ったうえで議会としての可否を決定する

新たな議案の上程・提案理由の説明

質疑・採決

議員提出に係る事案の上程、提案理由の説明

特別委員会委員の選任

意見書の上程・質疑・討論・採決

委員会の中間報告

議会閉会中の所管事項調査要求

閉会

長からの提出議案と、議員提出の特別委員会の設置1件、意見書2件の併せて23件について審議が行われました。

※議案の議決結果は⑯ページをご覧ください。

主な議案等について

議案第82号 令和4年度

行橋市一般会計補正予算

今回の補正予算は、既定予算に対し、4億8,096万円を増額し、歳入歳出予算総額を、それぞれ319億9,573万9千円としようとするものです。

主な内容は、物価高騰対策として、保育所の負担軽減に係る経費、また、水道料金の基本料金の減免を実施するための一般会計からの繰出金

1億2,851万4千円を増額。

燃料及び電気代の高騰による、小中学校及び防災食育センターの電気代、燃料費併せて2,599万円、消防車両の燃料代及び消防施設の電気、ガス、水道代2,011万円の増額。来年度、小中学校において学級数が増加する見込みであることに伴う、教室の改修及びICT環境整備に要する経費425万5千円の増額。放課後デイサービスなどの利用者の増加に伴う給付費の増額などとなっております。

議案第71号 市長、副市長および教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

議案第74号 行橋市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

人事院勧告に準じて、それぞれ期末手当の支給率を年3.25月から3.3月へ変更するものです。

議案第88号 令和4年度 行橋市一般会計補正予算（第6次）

今回の補正予算は、既定予算に対し、今回の補正額7,658万円を増額し、歳入歳出予算総額を、それぞれ320億7,231万9千円としようとするものです。

国において妊娠届出後及び出生後にそれぞれ5万円相当の経済的支援を行う出産・子育て応援交付金の支給が12月2日に決定されたことを受け、これに伴う予算を計上しようとするものです。

常任委員会の報告

12月14日から12月19日まで各常任委員会で議案の審査が行われ、23日の本会議で各委員長から報告されました。審査内容の一部を抜粋して掲載します。

※ ◎↓【委員長】 ○↓【副委員長】

総務委員会

- ◎井上倫太郎 ○矢野潤一 徳永克子
一保茂則 小坪慎也 小見祐治
- 【審査案件】 13件 ● 条例8件
- 補正予算4件 ● 請願1件

議案第78号 行橋市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定

本案は、第6次行橋市総合計画を横断的に取り組むため組織の見直しを行うもので、主な内容は、市長公室の廃止、人権政策及び男女共同参画に関する業務を市民部へ移管すること、ふるさと納税に関する業務を総務部から産業振興部へ移管し、ふるさと納税課を新設することなどです。

審査の中で委員より、全体的な業務分担と組織化の展望について質したところ、所管からは、係の器を大きくし、ジョブローテーションを行うことで情報の共有を図りたい。また、業務を平準化するため、調査を行い、業務量を明確化して組織の人数と業務の集約さらにDX化を進め、組織力の強化を目指し

ていくとの回答を得ました。

次に、人権政策事業に関するところは、総括として総務部が所管するほうが望ましいのではないか、また、人権政策事業は専門的な知識が必要であり、相談業務等をひとつの部署にまとめることで所属長の負担が大きくなるのではないかと委員より質したところ、所管より、講演や啓発など同じスタイルの業務が多く相談業務を効率的に集約した、との説明を受けました。

次に、ふるさと納税課の新設は、納税額を増額し、財源として確保するために課として力をいれていくとの説明を受けました。

次に、防災業務と基地対策業務の統合について、委員より、基地への対応は相反し、一つの部署にするべきではないのではないか、との意見が出されました。所管からは、常時人員が必要な部署ではないが、有事には組織として人員を確保するための統合であるとの回答を得ています。

最後に、業務の平準化、業務量の明確化、人数と業務量の調査を行ったうえで、機構改革にあたる方が望ましいのではないか。漠然と行っても市長が何をやりたいのか見えないといった議論が続く。まず、市長のビジョンを明らかにし、機構改革の中長期的な展望について示すことが必要ではないか。目的が明確であれば、機構改編についても理解できるものとなり得るとの指摘が出されました。審査終了後、取りまとめ、採決の結果、委員、賛成少数で、否決すべきであると決しました。

文教厚生委員会

- ◎瓦川由美 ○西田憲司 豊瀬尉
面岡淳輔 藤木巧一 田中次子
- 【審査案件】 6件 ● 条例1件
- 補正予算4件 ● 契約1件

議案第79号 行橋市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定

本案は、子ども医療費支給制度における助成対象者について、現行では「15歳に達する日以後の最初の3月31日」までとしているところを「18歳に達する日以後の最初の3月31日」まで対象を拡大するため、条例の一部を改正しようとするものです。なお、施行日は公布の日であり、令和5年4月1日からの適用となっています。採決の結果、出席委員、全員一致で、賛成すべきであると決しました。

議案第81号 行橋市民体育館外部等改修工事 請負変更契約の締結

本案は、令和4年6月定例会において議決された行橋市民体育館外部等改修工事請負契約について、議決を受け本工事に着工したところ、目視・打診調査を実施し、劣化により補修が必要な部分新たに確認されたため、建物の保全を目的に、契約金額の変更に伴い議会の議決を求めるものです。

審査終了後、現地調査を行い、採決の結果、出席委員、全員一致で、賛成すべきであると決しました。

議案第88号 令和4年度行橋市一般会計補正予算(第6次)

本案は、政府における「出産・子育て応援交付金」の創設に伴うもので、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する事業を支援するものです。

対象者は令和4年4月以降の出産であり、妊娠届出後及び出生後にそれぞれ5万円を支援し、これら経済的支援にかかる経費やシステム構築にかかる経費、人件費など、658万円の増額を行うおとするものです。

審査終了後、とりまとめの中で、委員より、相談支援については、相談場所の確保や、昼夜問わず相談できるような支援体制、市民に対する広報活動、また業務的ではなく市民に寄り添った相談支援をお願いしたい、との意見や、今後も継続していく事業であり、業務量や業務量の増加が想定されるため、しっかりとした人員確保に努めていただきたい、との意見が出されました。

採決の結果、当委員会所管部分につきましては、出席委員、全員一致で原案のとおり可決すべきであると決しました。



市民体育館を現地調査

建設経済委員会

◎大池啓勝 ○小堤千寿 田中建一
鳥井田幸生 藤本廣美 澤田保夫

【審査案件】 4件 ●条例1件

●市道の認定等1件 ●補正予算2件

議案第82号 令和4年度行橋市一般会計補正予算

当委員会所管部分における補正は、1、975万円の減額補正を行なおうとするもので、所管する一般会計9課のうち、下水道課を除く各課で補正予算が計上されています。補正の主な内容は、所管各課の人件費補正が計上されています。

次に、繰越明許費についてですが、今回繰越すものは、長浜公園整備事業で、理由としましては、事業計画の変更により、年度内執行が困難となったため、予算額1億902万7千円のうち、6,693万4千円を繰り越すとの報告を受けています。

審査終了後、とりまとめの中で、今回、長浜公園研修宿泊施設について、報告を受けましたが、多数の指摘事項がありました。

本計画は、指定管理に大きな条件変更を及ぼすものであり、その意味で、事前に事業計画書等の説明を尽くすべきであったと言わざるを得ません。しかも事業者との協議が8月中に行われており、12月の今日に至るまでも報告すら無い、ましてや、議員からの指摘で報告を行うという執行部の議会対応は許し

がたく、その点を強く指摘しておきます。

委員からの意見ですが、まず、固定資産税の取り扱いについて質したところ、明確な回答がなかったことから、関係所管と協議するように、との意見が出されております。

次に、指定管理期間満了後の建物の取扱いについて、基本協定書に原状回復義務について記載があるが、連帯保証人を求めたり、保証金を供託させるべきではないか、との意見が出されております。

また、施設から大量の油を流された場合、浄化槽にトラブルが発生する恐れがあるが、原則として30万円以上の補修工事の場合、運営側に原因があっても、市が負担しなければいけない。予定外である維持管理の内容については、再度検討するべきではないか、との意見が出されております。

また、利用料金や宿泊施設利用者の駐車場はどうするのか等について、協議・検討が一切なされていない。加えて、市に重大な影響を及ぼすものであるにも関わらず、決裁区分を内決裁としている点等、事務処理が非常に杜撰であるとの指摘が出されております。

採決の結果、議案第82号のうち、当委員会所管部分につきましては、委員、全員一致で、原案のとおり可決すべきであると決しました。

特別委員会の中間報告

特別委員会の活動について、本会議時に委員長から報告されました。内容の一部を抜粋して掲載します。

公有地の占有に関する調査特別委員会

◎大池啓勝 ○田中次子

徳永克子 田中建一 鳥井田幸生

西岡淳輔 藤木巧一 瓦川由美

矢野潤一 小見祐治

これまでの審査の中で、公有地である菟島835・1に越境していた建物の基礎部分等については、令和4年5月2日に全て撤去が完了しているとの報告を受けています。

次に、海側に張り出した2か所の無願埋立については、公有水面埋立法に基づき、事務手続きを行っており、その詳細を確認すると、令和4年3月18日において福岡県から漁港管理者である行橋市及び利害関係者である菟島漁業共同組合に対して境界確認協議書を提出。それを受けて市は3月24日境界立会の確認。6月26日菟島漁業協同組合が当該土地について境界立会の確認を行い、6月30日埋立人が財務省から売払いを受けることに同意。同様に市も埋立人が財務省から売払いを受けすることに同意。引き続き、7月4日には埋立人が無願埋立の原状回復義務免除申請書を県

に提出。7月8日県から市に対して、申請者が無願埋立地の存在及び当該埋立地を取得することに於いて漁港管理上問題がないのか、と意見照会がなされたことを受け、市は県に対して「無願埋立地の存在及び当該埋立地を申請者が取得することについて漁港管理上支障はない。」と8月16日回答を行った。その後、9月30日において県から市と申請者に対して現状回復義務の免除決定がなされ、同日付けで農林水産省の所有となった、との報告を受けています。

今後、新たに生じた土地の帰属が市となる議案を上程する予定であり、その議案が可決された後には、払い下げに向けた手続きを行う、との報告を受けています。

委員から、同一人物が記名押印をしているが、境界確認は法人の代表者として、一方で、払い下げ申請は個人として提出されている。法人と個人では法的に全くの別人であるが、手続き上問題がないかどうか確認せず、加えて、特別委員会が設置しているのにも関わらず、一切の報告がないまま市長が記名押印しているのは如何なものか、との意見が出されています。引き続き、法人と個人が混在している、手続き上問題がないか、改めて確認をしていただきたい、との指摘が出されています。また、平成5年の航空写真についても報告を求める、との要望が出されています。

その他、今後も引き続き事実関係を精査の上、真実の究明に努める所存です。

令和4年12月定例会 一般質問



一般質問は、行政全般にわたって執行機関に対して事務の執行の状況及び将来に対する方針について質問します。

12月定例会では、11名の議員が市政全般について質問し、執行部から回答を得ました。

内容の一部を抜粋し、質問と答弁の要旨を掲載します。

各議員記事の二次元バーコードから一般質問の動画をご覧になれます。

動画で観よう！



西岡 淳輔 議員 → 6P



- ①福祉行政

小見 祐治 議員 → 7P



- ①市営住宅
- ②機構改革
- ③職員採用試験

西田 憲司 議員 → 9P



- ①これからの公園のあり方
- ②子育て支援の充実
- ③市民満足度の高いサービス

田中 次子 議員 → 10P



- ①インボイス（適格請求書）制度
- ②介護保険制度
- ③子どもの居場所づくり

井上 倫太郎 議員 → 6P



- ①キラキラ輝く市民表彰制度
- ②フリースクール
- ③入札

矢野 潤一 議員 → 8P



- ①通学路の安全
- ②市内の歩道の在り方
- ③幼稚園・保育園送迎バス

小坪 慎也 議員 → 9P



- ①北朝鮮による日本人の拉致事件
- ②テロリスト
- ③副市長

大池 啓勝 議員 → 11P



- ①財政問題
- ②教育方針
- ③入札制度

田中 建一 議員 → 7P



- ①市奨学金制度の見直し

徳永 克子 議員 → 8P



- ①窓口業務
- ②消費者行政
- ③コロナ対策
- ④築城基地問題

小堤 千寿 議員 → 10P



- ①教育における様々な環境整備
- ②都市公園整備
- ③市政運営及び政策（ビジョン）



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問者席の前面にアクリル板を設置しています。

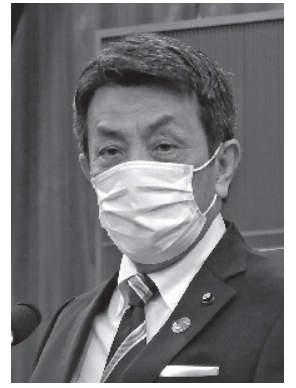
※一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

本会議の映像を録画配信しています。

YouTube（ユーチューブ）の行橋市議会のチャンネルへアクセスしていただくと、定例会ごとの再生リストより、一般質問の映像をご覧になれます。

行橋市議会 YouTube チャンネル





にしおか じゅんすけ
西岡 淳輔 議員

福祉行政



動画で観よう！



議員 HPVワクチンが本年4月、定期接種対象者積極的勧奨が約9カ月ぶりに再開。キャッチアップ制度も開始。本市の積極的勧奨現状と市民反響を伺う。定期接種及びキャッチアップの実施は、副反応不安から接種をためらう方もいる。9価ワクチンは厚労省審議会を踏まえ、令和5年度から定期接種開始準備中。効果、安全性、対応、対象者への周知方法を問う。

福祉部長 今年度10月末1回目接種242人。2回目160人、3回目28人。令和4年10月末接種率は12.2%。定期接種への理解が深まっている。今年度勧奨は、中1から高1の未接種定期接種対象者1,239人は4月に、未接種キャッチアップ対象者2,285人は5月下旬に個人通知を行う。

接種者が増えない原因は開始当初に接種後痛みや運動障害などの症状が相次いで報告。よって積極的接種勧奨を控えた。9価ワクチンは厚労省予防接種基本方針部会ワクチン評価小委員会で安全性が一定程度明らかになり、令和5年度定期接種開始。注意事項も個人通知や市報、HPを活用し周知。併せて接種を行う医療機関にも注意喚起を行う。来年度、キャッチアップ対象者の再勧奨を計画。

教育長 子宮頸がんやHPVワクチンの必要性、理解が必要。保護者にも必要。自分は大丈夫だと思いがちな子ども達も、自分事と捉えて頂きたい。情報提供は教育委員会でも、しっかりとさせて頂く。

議員 出産・子育て応援交付金について。伴走型相談支援を充実し経済支援を一体として実施する交付金を創設とある。伴走型相談

支援並びに経済的支援の関係、実施を問う。
福祉部長 妊娠届出時妊婦や低年齢期子育て家庭に行政が寄り添い、出産・育児等の見通し面談。これを伴走型相談支援。経済的支援で安心して出産・子育て環境の整備を行う。経済的支援は自治体の判断で受けるには伴走型支援面談後だ。本事業は毎年実施する。
市長 今年度中の実施を目ざす。経済的な支援は現金給付を考えてる。

議員 アピランスケア推進事業は令和3年9月に重要検討課題の一つと指摘し、令和4年度導入要望した。進捗状況は。

福祉部長 大変重要な取組みとの認識は変わらない。来年4月開始の準備中。

議員 非常に重要。徹底的に漏れないように市民に分かりやすく丁寧に説明を。



いのうえりんたろう
井上倫太郎 議員

キラキラ輝く市民表彰制度

フリースクール



動画で観よう！



キラキラ輝く市民表彰制度
議員 現時点でも行橋市内では、多くの市民の方々がボランティア精神で様々な取組みを行っているいただいています。例えば椿市校区在住の中野久恵氏は、子ども会育成会を約40年、子育てボランティア19年、学校評議員16年、椿市小学校芋掘り体験18年といったように、自らの時間やお金を使い地域貢献を継続的に行っていただいています。このように市内で活躍される方々を市が表彰し、スポットを当てることで市民の皆様方のモチベーションの向上や住民自治の活性化につながると思っています。しかし過去の表彰実績は多額の金品の寄付や世界的な活躍がメインで、長きにわたり地道に社会貢献活動を行っている個人や団体は表彰されていません。

市長 市政70周年の際に、より多くの皆様方に喜ばれるかたちで表彰制度を実現できればなど思っております。

フリースクール

議員 2021年度の小中学校の不登校児童生徒数は、24万4,940人で9年連続増加傾向にあり、特にコロナ禍では急増しています。行橋市内にあるフリースクール風の里は

開校から27年、利用した子どもは486名となり、長きに渡り自主運営で不登校の子ども達に多様な学びの場を提供してきました。

パティシエによるスイーツ教室・工務店による木工教室・鮮魚店による海鮮丼教室など市内企業に協力頂き体験型の学習を行うなど、生きる力を育む学びも行っています。

一方で、同じ行橋市に住む子ども達なのに、行政の関りや支援の手が差し伸べられていないというのが現状です。市が意思を持って先進的に法を超えてでも支援すべきではないのか。

教育部長 制度的にフリースクールに直接補助金等の支出を行っている自治体はありませんが、行橋市としてどのような方法であれば支援が可能であるか、情報収集を行いつつ、支援の可能性については検討してまいりたいと考えます。

フリースクール風の里での体験型学習





たなか けんいち
田中 建一 議員

議員 政友会の田中建一です。市の奨学金について質問します。昭和34年にこの制度ができ、もう64年近くなるわけですが、なぜ現在も貸与制なのか。

教育部長 本市における貸与型の奨学金条例は既に60年以上を経過し、その間、社会を取り巻く環境も変化している。平成29年度、我が国で初めて給付型奨学金事業が導入されたので、貸与型からの変更等も考えていきたい。

議員 子どもたちの教育を保障していくための教育基本法からすると、全ての経費にかかわる、学校教育、勉強するためにかかる経費については無償にしなければならない、二つの奨学金が現在行橋に免除型と貸与型という制度があるが、奨学金に対する課題等について教えて下さい。

教育部長 課題は、奨学金を必要としている学生に対して周知がしつかりできていないのか、再度踏み込んで見直しも含めて検討する必要があると考えている。

教育長 この制度に関しては、60年を経過しているのに、何もPDCAが回っていないか、たところについて、非常に疑問視しており、目的についても、いま社会環境・家庭環境・

市奨学金制度の見直し



動画で観よう！



ニーズの変化にこの目的が合っていることについても疑問視しており、より課題認識を深掘りし、対策を講じることが必要ではないかと考えている。

議員 特定型職業種の現状について、奨学金の二つの業種によって、その業種の人員不足が改善されたのか。

教育長 二職種に限定したことで、行橋市の教員の数が増えているという現状はない。やはり職業を二職種に限定するということは、課題があるのではないかと考えている。

議員 奨学金制度について市長の考え方は。

市長 返還免除型の奨学金につきましては、根本的に見直す必要性があるのではないかと考えている。

議員 最後に、この奨学金全体で保証人を2人立てないといけないという保証人制度が一番のネックになるので、それをやめて親族1人でいいのではないか。全国的に行橋の奨学金が評価される内容にしていきたい。



こみ ゆうじ
小見 祐治 議員

議員 業務のスリム化や事務の平準化がないのに、市長の目ざす戦略的な施策の推進を優先されるのであれば、さらに職員の負担が増すのではないか。心の病を抱えた職員も増えている中、職員の良心や善意に任せ、現状維持の事業の整理がない状況の中、連携ばかりを先行させるのは、さらなる負担を生む。

このような環境では、機構改革を通じた市長の目ざす体制は、十分に機能するとは思えず、ひいては市民サービスへの低下につながるのではないかと。本来であれば最優先に取組むべき問題を先送りしながら、来年度も引き続き取り組むとしている。今回の機構改革は少し早いのではないかと。実際に、この機構を考えた中で関係部署との調整は、しつかりできて

いるのか。

市長 各部長から出された意見と、私の方針を照らし合わせながら新しい組織体制を考えましたが、部門をまたぐ業務移管の調整や業務の統合などに多くの課題がありました。そこで、9月定例会の上程を見送り、一部の機構改革を進めたところです。

その後、再度改革案を整理し、検討しましたが、業務量の中身が見えていない部署もあり、業務量の平準化や組織のスリム化までは

機構改革



動画で観よう！



至っていませんが、戦略的な施策の推進、組織として横断的な取組みができる体制づくり、この2つを軸として、機構改革を上げ上げています。

議員 平準化等、業務の内容等がなかなか見えていない中で、いろんな業務の調整とか、機構改革できるわけではない。できないのであれば、もっと練ってからあげてはどうかと思います。次に、この機構の中で欠員等はなくしつかりとはまったのか。

総務部長 現状では欠員等を生じておらず、人員は足りている状況です。しかし、職員の中には産休や病休など様々な理由により、勤務ができない職員もいますので、その欠員等々が生じた場合については対応したい。

議員 病欠や産休の職員が結構ある中で、その人たちをあてにと言つと悪いが、そういう人たちを入れた中での機構を言いましたが、実際には新規採用の試験の最中でもあり、それを見越した採用等も考えながら、機構改革について進めていただきたい。



やの じゅんいち 潤一 議員

通学路の安全



動画で観よう！



る時には怖いと感じます。

議員 通学路の安全向上は必須であり、平成27年度から危険箇所が何件、対策が何件、未実施が何件が理由も含め、令和3年度までお答え下さい。

教育部長 令和3年度まで計22件が未完了となつている。事業完了に時間を要する所や、地権者と調整中などが主な理由で、全ての箇所については、対策の事業着手や協議中です。

議員 通学路を確認した事があるか、また、確認した時どう感じたのかお答え下さい。

教育部長 車で移動する際に箇所の確認をしています。特に道路が狭い、あるいは子どもの通学時間で、車と子どもが接触する様な危険を感じる事があり、危険箇所も多々あると感じます。

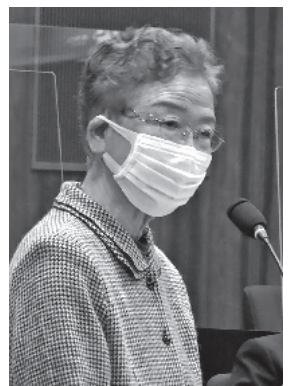
議員 稗田小学校の通学路は安全だと思えますか、危険だと思えますか、どう感じているか率直な意見をお願いします。

教育部長 山際の道が多く、道端の雑草や木の枝で通りにくい場所があり、危険だと感じる事があります。また、周りに木が覆うような所があり、そこに誰か隠れている、あるいは引き込まれるという様な危険があると思えますし、暗い部分もありますので、一人で通

議員 子どもたちの安全を守る事を優先に考えているのか、完了箇所が再発している所もあり、市長と教育部が共有する事で、色々な対策が見えてくると思います。市長の考えをお願いします。

市長 既に完了した所も再発している所があるという話を聞きました。藪のような所や視界が塞がれている所は毎年のように起こり、継続してチェックしていくように過去完了したのも、再発していないかデータとして残り、定期的にチェックする仕組みづくりが必要であり、やっていきたいと思えます。必要な予算はしっかりと付け、可能な限りハード面の安全対策を行っていききたいと思えます。

議員 知恵を出し合い改善に結び付け、強いリーダーシップを図りながら、教育部と一緒に連携し、早期対応と解決していただく事をお願いします。



とくなが かつこ 徳永 克子 議員

消費者行政

築城基地問題



動画で観よう！



消費者行政

議員 深刻な消費者トラブルや特殊詐欺は、減少していないが実態と対策を明らかにして下さい。

産業振興部長 本年4月から10月末までに消費者センターへの相談は569件、契約金額2億9,170万円。前年同期と比べ共に増えています。通信販売やインターネット通販によるトラブルが最も多く、悪質な特殊詐欺は19件です。市報やホームページ、スターコーンFMを通じて注意を促しています。

議員 高齢者や18歳の若者への対応策をお答え下さい。

産業振興部長 高齢者へは出前講座など消費者教育を行っています。市と警察署、民生委員、高齢者相談支援センターで構成する消費者安全確保地域協議会を通じて、見守り活動に努めていきます。若者へは高校3年生を対象に出前講座を、2年生にも啓発グッズを配布し周知活動に取り組んでいます。

議員 特殊詐欺などの事例を赤裸々に市民に知らせる。ペーパーレスが増加中、ホームページの工夫。ポスター等、多額の損害を市民に与えないよう積極的な取り組みを求めます。

築城基地問題

議員 11月の日米共同実動演習（キーンソード23）、与那国島において105ミリ砲を搭載した機動戦闘車mCV（キャタピラでなく車輪、見掛けは戦車）が、公道を走る訓練。戦後初めての事と、反対の行動が起こった。これは築城基地から輸送機で搬入。熊本から高速道路・10号線を砲を隠しめせず自走した。この件で、九州防衛局の行動について明らかにしてください。

総務部長 徳永議員から、共産党が九州防衛局に申し入れに行った際、状況を把握していなかったとの話。そこで11月10日、市も九州防衛局に問い合わせた。防衛省に照会し回答する旨の返事であった。15日に、mCVが本日築城基地に入るとの連絡。議員からのご指摘で市から問い合わせたが、詳細は答えかねる、訓練の内容は答えていただけのものではなかった。基地のある地方自治体として正確で迅速な情報提供を要望していきます。

議員 米軍基地化されようとしている築城基地が、地元自治体が把握できないままに、なし崩し的に使われることの無いように。今回の件は、防衛局に申し入れ、事実を明らかにして下さい。



にしだ けんじ 議員
西田 憲司

これからの公園のあり方

議員 駅東側地区の公園整備について

都市整備部長 駅周辺等の中心市街地である行橋地区においては、市民アンケート調査を行っており、その結果から身近な緑がないと感じており、緑の創出が求められている一方で、まとまった土地の確保が非常に困難というところで、比較的小規模な街区公園や街路沿線の駐車場等を使ったポケットパークの整備等を検討してまいりたいと考えております。その中に、先程の御質問でもありました健康遊具等の設置についても検討したいと考えております。

議員 インクルーシブ公園の導入及びプレーパークの推進について

都市整備部長 インクルーシブ公園につきましては、障がいのある無にかかわらず、あらゆる子ども達が安全・快適に遊べるよう設計・整備された公園といたしまして、車いすや歩行器のまま上れるスロープがあるコンビネーション遊具やユニバーサルデザインの視点を取り入れた公園遊具を設置するなど、今後、新たに公園整備や遊具の改修を行う際には、こうした考えも念頭に入れながら取り入れたと考えております。また、プレーパークに

これからの公園のあり方

子育て支援の充実



動画で観よう！



つきましては、自然をそのまま活用するということ、大きな施設整備などの必要がなく、泥遊び、焚火、落葉プールなどの公園内の地形や樹木を利用して日常なかなかできないような遊びを通じて、子どもの自主性や冒險心を育むもので、運営管理面での工夫次第で取組めるものと考えております。まずは、スポット的なイベントとしての開催ができないか等、現在公園を管理している指定管理事業者と協議を行いたいと考えています。

子育て支援の充実

議員 子育てしやすい街づくりについて

福祉部長 近年の子育て世代のニーズの複合化・複雑化により、現在取組んでいる支援制度の中身についても、見直しを図る必要が生じてきています。又、これまでの支援制度の中で子ども医療費支給制度につきましても、現在、中学3年生までが対象ですが、令和5年度から対象者を18歳まで拡大することで調整を行っております。又、その他の支援施策につきましても、引き続き事業の精査等を行いながら、今後も子育て世代の皆様から、住みたい、住み続けたいと思って頂けるよう、より良い政策の推進を図ってまいります。



こっほ しんや 議員
小坪 慎也

議員 政治家がテロで命を失ったことについて、いかがお考えでしょうか。私は、テロは許されないと考えております。公職選挙法によつてバツジを有権者からお預かりしている私たちが、自ら民主主義を否定する行為です。市長 絶対にいけない行為であると認識しております。

議員 副市長や部長が爆破予告等々で脅され、市民丸ごと爆破してやると脅されたときに、副市長や教育長に悪いけど辞めてくれと言いますか？明示的にお答えください。
市長 そうやって辞めてくれというふうにはならないのかなと思います。

議員 市および一部の市議と裁判をしております。テロに関係する話だと思っております。決が出ております。司法権の判断について答弁をお願いします。

総務部長 小坪議員が提訴された損害賠償事件におきまして、1審2審とも、決議は小坪議員の名誉を棄損するものであると認定されております。

議員 発端は私の意見表明が関係ないということも判明しております。併せて上記事実が真実であることの証明も認定を取れていると思っております。

テロリストについて



動画で観よう！



総務部長 同決議によつて示された事実が、事実であることの証明がないということの認定がされております。

議員 テロに関係するものゆえ、裁判所としても踏み込んだ判決になっていると私は思っています。いかがでしょうか。

総務部長 令和2年11月の最高裁の判例により、地方議会における懲罰が司法審査の対象となると判示され、60年振りと言われる判例の変更が行われました。先ほどの判例も、名誉棄損にあたるということで、これに続く事例の一つであるかと認識しております。

議員 懲罰が対象になるという60年振りの大法院というかたちで衝撃を与えたんですが、司法審査が及ぶという恐らく全国初の事例になりますので相当有名な事例になるうかと思っております。司法審査の限界がある中で、地方行政、全国全てに影響を与えるような判決を取るのに6年かかりました。行橋市はテロリストには屈しないと強く姿勢を示していただきたい。市長自らがテロ対策指示と指揮をしっかりと出していく意思表示をお願いいたします。

市長 はい、出してまいります。



こづつみ ゆきとし
小堤 千寿 議員

教育における様々な環境整備

議員 通学区区域制について、行橋市では住所地に基づく通学区区域制を採用しており、原則として学校を自由に選べない。保護者の申立てにより、相当の理由が認められる場合には、指定される就学校を変更できる。3年前条例改正により、変更規則が厳しくなった。現条例のままでは、希望の学校に通えないという子どもがいるが不公平では？

教育部長 改正により、以前は認めていたが、新規則では認めないケースがある。基準改正は、致し方ない。

議員 行政も、致し方ないで済ませては、駄目だ。市民に寄り添うことを、まずやるべき。学校指定変更の正当な理由が12項目ある。12番目に、その他、委員会が特に必要と認めた場合、というのがあつたら委員会でも協議すべき。様々なケースがあるが、中には家が隣でも同学年で、違う学校に通わなければならぬケースがある。親としては一緒に学校に通わせてあげたいのは当たり前であり、正当な理由と考える。保護者の悲痛な訴えを受けとめ、一度議論をすべきでは？

教育部長 住宅状況や児童生徒数の今後の推移を視野に入れ、検討を進める。

議員 子どもや保護者に寄り添って、選択できる受け皿を強く要望する。

教育における 様々な環境整備 都市公園整備



動画で観よう！



議員 スポーツや部活に対する支援金・補助金について、子どもたちがスポーツ全国大会等に出場する際に、市長に表敬訪問しているが、現在市より奨励金がない。奨励金等補助を出す考えは？

市長 スポーツをまず奨励すること大賛成。体育協会との整合性を含め協議を進める。

議員 市独自の奨励金制度の創設を強く要望する。

都市公園整備

議員 本市が管理する都市公園は現状何個か？

都市整備部長 合計で33公園。

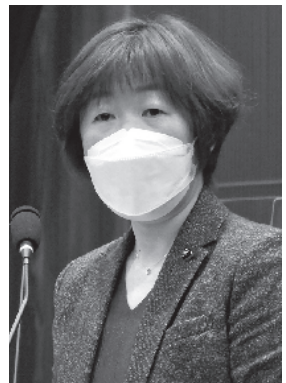
議員 33箇所の都市公園のうち維持管理をされていない公園は？

都市整備部長 八景山緑地1号公園と八景山2号公園の一部。2、3段目テニスコートから4段目の施設は閉鎖し、現在に至る。

議員 現状、何十年という期間、草刈りも管理もされていない。フェンス等の破損状況を含め管理者としての考えは？改善するのか？

都市整備部長 地元と相談し対応をする。フェンス等危険状況は改善予定。

議員 直近の整備事業の長浜公園は3億円もかけ整備中。33箇所の今ある公園も管理できないのに、おかしい。危険箇所を何十年も放置する様な公園管理のあり方を改善すべき。



たなか つぎこ
田中 次子 議員

インボイス制度

議員 市の上下水道事業など、これまで地元工務店などに依頼されてきた修繕工事など、インボイスが発行できないという理由で取引の対象から外されてしまうことや、また、取引の継続のために課税業者への転換を、市が求めていくことが危惧される点について問う。

総務部長 総務省から、いわゆるインボイスの登録業者でない業者に対して、競争入札等に参加をさせないようとするような資格を定めることは適当ではない、という通知が出されている。本市についても、市との契約に関する登録業者の条件等は付ける予定は一切ない。

子どもの居場所づくり

議員 こども基本法には「子どもの権利条約の精神」や「子どもの最善の利益」という言葉が盛り込まれている。市の施策に活かしていく具体的な考えはあるのか？

市長 学びの機会の保障と、子どもたちの遊び場をつくっていかねばいけないと思っっている。その他にも経済格差によって、なかなか求める学びを得られない家庭や子ども、そうしたところを公で、何がしかのかたちで担保できないかとも考えている。

インボイス (適格請求書) 制度 子どもの 居場所づくり



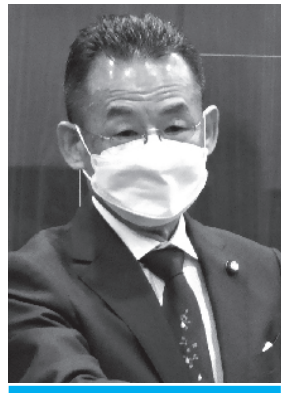
動画で観よう！



議員 志免町には、子どもの権利救済委員制度がある。「困ったことがあったら相談して」ではなく、「何でも話したいことがあれば話して」と呼び掛けることが活動方針。田中市政の前までは、児童館構想があつたと聞いている。工藤市長には、今こそ、子どもの居場所づくりに向けて具体的に行動していただきたい。

市長 学校教育だけでは育てられない能力、つまり学校が受け皿になれていないけれども、その子その子の学び方、あるいは能力・個性といったものをしっかりと捉えれば、とてもない能力、才能が発揮できるお子さんもあるかと思う。いろいろなお子さんの能力を考えて、様々なかたちでの受け皿をつくっていくべきであると考えている。

議員 文科省からは生徒指導提要の改訂版が公表され、「子どもの権利条約」の理解が、教職員、児童生徒、保護者、地域の人々などにとって必須だとしている。子ども（施策）のことは子どもに（意見を）聞くこと。「子どもの声をまちづくりに活かす」ことを強く求める。



おおいけ ひろまさ 議員
大池 啓勝

議員 下水道事業について、南校区から泉校区にかけては住宅や商業施設の集積が進み、安川電機の新工場計画案が発表された。下水道区域を拡大する考えはないのか。

市長 下水道に対しての要望が根強くある一方で、広げるには莫大な予算が必要。様々な議論がございますが、正確な答えは持ち合わせていません。

議員 固定資産税について、田中市政では0.1%すら下げられないのか、と質問している。税率は引き下げますか。

市長 税収がこれから減少していく中で、固定資産税率を今下げる、下げない、は名言できない。考えているところです。

議員 小犬丸踏切について、市長が当時指摘した南行橋駅横の小犬丸踏切の改良について、JR九州のどこまで話がいつているのか。

市長 議員時代には申し上げましたが、JR九州とは、まだ特段の話は進めていません。

議員 9月議会で旅費の精算について言及しました。県外で34回、精算したのか。

財政問題



動画で観よう！



議員 職員採用試験の資料の外部への提供について、マスクミヤ警察に採用試験関係の書類を提出したのではないか。正式な手続きを踏まずに外部に出たのであれば大きな問題。資料は提出したのか、していないのか。

市長 マスクミヤに対しては資料は出していない。警察に対しては手続きを踏んで提出するべき時があった時は提出するということに対応します。

議員 図書館運営変更契約について、契約変更の過程で業者と市職員間で不透明なやり取りがあった。シルバー人材センターでは金品着服問題があった。これらについて調査を行ったのか。

市長 図書館について聞き取りは行った。シルバー人材センターについては、福祉部長に市長室で話を聞きました。

議員 コロナ対応について、若手職員複数による飲食が行われ市役所内にクラスターが発生した。市は3密を避ける呼びかけを行っているが、市長も出席したとのことだが如何か。

市長 若い職員によるスポーツ大会があり、その後飲食が行われた。しかしこれは、法的に何も触れていないと思っており、私も参加しました。

職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会を設置

この特別委員会は、地方自治法第100条第1項及び第10項、並びに第98条第1項の権限の委任を受け、令和元年度、2年度、3年度の職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査事項として設置されました。

職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会

委員長
副委員長
委員

- 小西 瓦井 大澤 田徳 矢小
- 見田 川上 池田 中永 野堤
- 祐憲 由倫 啓保 建克 潤千
- 治司 美郎 勝夫 一子 一寿



委員会の様子

100条調査権とは

100条調査権とは、地方自治法第100条に根拠を有する議会の調査権をいい、普通地方公共団体の事務に関し議会が調査を行うことができる権限です。

地方公共団体で起こった不祥事件等に対して、
●当該不祥事件等が起こるにあたっての原因として組織や人事管理に問題がなかったのか？
●不祥事件等が起こった背景はどのようなものであるのか、事務の執行が適正に行われていたか？

そして今後どのようにすればこのような不祥事件等が起こらないような体制を築くことができるのかなどを調査することを目的としています。



委員会視察研修報告

令和4年度に実施した、各常任委員会、議会運営委員会、基地対策特別委員会の視察研修について報告いたします。

委員会研修は、今後の市の取り組みに活用できるように所属委員会に係る先進地の実例について研修を行うもので、各常任委員会、議会運営委員会及び基地対策特別委員会において実施しています。

令和4年度委員会研修実績

【総務委員会】 令和4年11月14日～15日

岡山県岡山市／豪雨災害対策
兵庫県西宮市／第2庁舎（危機管理センター）整備事業

【文教厚生委員会】 令和4年10月11日～12日

神奈川県横須賀市／わたしの終活登録（終活情報登録伝達事業）、エンディングプラン・サポート事業
神奈川県川崎市／子ども夢パーク（不登校施策等）

【建設経済委員会】 令和4年11月14日～15日

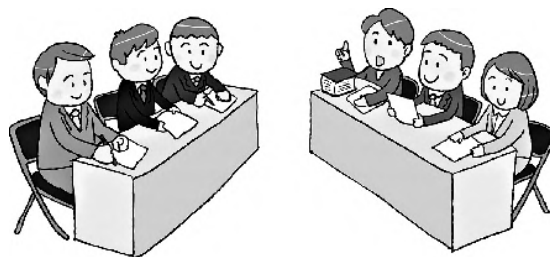
福井県福井市／リノベーションによるまちづくりの推進、県都まちなか再生ファンド事業
滋賀県彦根市／愛のリタクシー

【議会運営委員会】 令和5年1月24日～25日

広島県竹原市・広島県呉市
／タブレット端末を活用した議会運営、一般質問

【基地対策特別委員会】 令和4年10月26日～28日

沖縄県北中城村・沖縄県読谷村
／米軍基地に関する取組み



総務委員会

岡山県岡山市

◇豪雨災害対策

岡山市では、平成30年7月豪雨の経験や教訓を生かし、危機管理体制を強化し、災害対策の強化・充実を進めているほか、「浸水対策の推進に関する条例」を策定している。

災害後、市民の自助・共助の意識が高まり、自主防災組織率は94%まで上がった。また農業地域が多いため池の数も多い。事前に水位を落とすと形態を維持できないが、決壊の恐れもある。雨を貯める機能も有するが、将来に渡って管理できるかが課題である。



岡山市での視察の様子

●委員長／井上倫太郎

●副委員長／矢野潤一（欠席）

●委員／徳永克子 二保茂則 小坪慎也（欠席）

小見祐治

兵庫県西宮市

◇第2庁舎（危機管理センター）整備事業

西宮市では、危機管理体制の強化と、庁舎機能の集約化による市民サービスの向上と業務の効率化、維持管理コストの縮減を目指し、消防本部や情報管理部、上下水道局、都市局、土木局等を同一施設に配置した第2庁舎（危機管理センター）を令和3年4月に竣工した。

建替えの経緯や課題について学び、本庁舎との地下連絡通路や免震構造、非常用発電機、エネルギー供給システム等の施設見学を行った。



兵庫県西宮市第2庁舎の免震構造を見学

文教厚生委員会

●委員長／瓦川由美

●副委員長／西田憲司

●委員／豊瀬尉 西岡淳輔 藤木巧一

田中次子

神奈川県横須賀市

◇わたしの終活登録

(終活情報登録伝達事業)

近年、本人が倒れた場合や亡くなった場合、終活ノートの保管場所や、お墓の所在地さえ分からなくなる事態が起きており、こうした「終活関連情報」を生前に登録する事業である。

神奈川県川崎市

◇子ども夢パーク

(不登校施策等)

「子どもたち一人ひとりが大事にされなければならぬ。」それを実現するために、川崎市の子どもと大人が一緒に考え、たくさん話し合いをして「川崎市子ども権利に関する条例」がつけられた。

子ども夢パークは、2003年7月に川崎市がこの条例をもとにつくった施設であり、川崎市が決めた子どもについての約束を実現する場となっている。みんながつくり手になり、つくりつづける施設を目的としている。



神奈川県横須賀市での視察の様子



子ども夢パーク「不登校施策等について」

建設経済委員会

●委員長／大池啓勝

●副委員長／小堤千寿(欠席)

●委員／田中建一 鳥井田幸生 藤本廣美

澤田保夫

福井県福井市

◇リノベーションによるまちづくりの推進

17件が事業化し、100人を超える新規雇用を創出している。参加者が固定化しつつあるため、新規参加者が参加・意見しやすい仕組みづくりが課題とのことである。

滋賀県彦根市

◇愛のリタクシー

東園域(1市4町)で連携して公共交通の活性化に向けて取り組んでいる。メーター運賃から利用者負担分を引いた金額を行政が負担しており、1便ごとに出発した停留所、到着した停留所をもとに、利用者がどの市町の住民か判定し、市町の負担割合を決めている。

利用者は増加傾向にあるが、運行回数が増加すると、行政の負担が増えるため、運行経費抑制及び国の支援を得ることが今後の課題とのことであった。

◇県都まちなか再生ファンド事業
新幹線開業を100年に1度のチャンスと捉え、県と市で、まちなかの魅力向上に寄与する店舗等の改修等の支援を行っている。
令和4年度の支援件数は約20件を見込み、地元市民も改修・開業に非常に意欲的である。



福井県福井市での視察の様子



滋賀県彦根市での視察の様子

議会運営委員会

- 委員長／藤木巧一
- 副委員長／西岡淳輔
- 委員／豊瀬尉（欠席） 矢野潤一

広島県竹原市

◇一般質問

竹原市議会では、議員一人あたりの一般質問の持ち時間は、答弁を含めて90分以内としており、定例会ごとに約半数の議員が一般質問を行っているとのことだった。

日程については、1日の質問者を3人として3日間、合計9人分を会期日程に組み入れており、質問人数が少ない場合でもこの3日間は固定としているとのことだった。



広島県竹原市ではタブレットを用いて研修

広島県呉市

◇タブレット端末を活用した議会運営

呉市議会では、平成27年度よりタブレットを導入し、段階的にペーパーレス化を行ったが、一部予算書などの資料は、画面サイズの関係で資料が見にくいなどの理由で、現在も紙で配付しており、完全なペーパーレス化になっていないことが課題であった。また、タブレット導入の利点としては、災害時に情報伝達が迅速に行えることや、情報提供の効率化に伴い事務量が軽減したことなどが主な利点のことだった。



広島県呉市での視察の様子

基地対策特別委員会

- 委員長／西岡淳輔
- 副委員長／西田憲司
- 委員／一保茂則 藤本廣美（欠席） 瓦川由美

沖縄県北中城村

◇米軍基地に関する取組み

北中城村内における米軍基地の面積は、約14.2%を占めており、キャンプ瑞慶覧の一部の地区の返還の合意をされ、平成19年度末には返還される予定であったが、現在でも返還はされておらず、米軍基地の存在は、北中城村の都市計画及び振興開発を図るうえで大きな制約となっている。

また、米軍基地に起因する事件や事故などに対する地域住民の不安や恐怖等、米軍の間に種々の影響を与えており、早期返還を求めている、との説明を受けた。



沖縄県北中城村 担当課より説明を受けた

沖縄県読谷村

◇米軍基地に関する取組み

読谷村内における米軍基地の面積は、約36%を占めており、現在も嘉手納基地の重要な弾薬庫やトリイ通信施設が存在している。そのため、読谷村には、米軍関係者の家族が多く居住しており、村内の学校では、二カ国語で学校行事を行ったり、地元の祭りに招待したり、と共存を目指している、との説明を受けた。

米軍再編に係る訓練移転先である築城基地に隣接している行橋市としては、今後二村での視察も踏まえ、基地問題の課題解決に取り組みたい。



沖縄県読谷村での視察の様子

議会日誌

●令和4年

- 11月17日(木) 全国市議会議長会地方財政委員会(東京都千代田区)
- 11月22日(火) 行橋市議会タブレット研修会
- 11月22日(火) 平成筑豊鉄道経営会議・取締役会(福智町)
- 11月24日(木) 障がい者グループホーム「Always」開所式
- 11月24日(木) 大阪府池田市議会行政視察
- 11月26日(土) 椿市交流センターイルミネーション点灯式
- 11月27日(日) 築城基地航空祭祝賀会(築上町)
- 12月2日(金) 議会運営委員会
- 12月5日(月) 議会改革調査特別委員会
- 12月6日(火) 障害者週間啓発運動
- 12月6日(火)～23日(金)
令和4年12月第15回行橋市議会定例会
- 12月13日(火) 代表者会議
- 12月14日(水) 市議会だより編集委員会
- 12月17日(土) つばさふれあいコンサート(苅田町)
- 12月22日(木) 代表者会議
- 12月23日(金) 職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会
- 12月26日(月) 職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会
- 12月26日(月) 議会改革調査特別委員会

●令和5年

- 1月5日(木) 行橋商工会議所賀詞交歓会
- 1月6日(金) 職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会
- 1月8日(日) 行橋市消防出初式
- 1月8日(日) 行橋市二十歳のつどい
- 1月11日(水) 議会改革調査特別委員会
- 1月12日(木) 農業委員会懇親会
- 1月13日(金) 建設経済委員会
- 1月13日(金) 築城基地賀詞交換会(築上町)
- 1月13日(金) 職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会
- 1月15日(日) 美夜古青年会議所新春祝賀会
- 1月18日(水) 議会運営委員会
- 1月20日(金) 九州周防灘地域議会連携協議会(築上町)
- 1月23日(月) 議会改革調査特別委員会
- 1月23日(月) 職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会
- 1月24日(火)～25日(水)
議会運営委員会視察研修(広島県竹原市・呉市)
- 1月26日(木) 株式会社ロジコム 行橋営業所竣工式
- 1月26日(木) 総務委員会
- 1月29日(日) ゆくはしシーサイドハーフマラソン2023
- 1月31日(火) 全国市議会議長会地方財政委員会(東京都千代田区)
- 2月1日(水) 代表者会議
- 2月1日(水) 市議会だより編集委員会
- 2月1日(水) 職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会
- 2月2日(木) 全国市議会議長会基地協議会理事会・総会(東京都千代田区)
- 2月3日(金) 平成筑豊鉄道推進協議会総会(福智町)
- 2月9日(木)～10日(金)
在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村議会連絡協議会役員会及び視察研修(宮崎県新富町)
- 2月9日(木) 議会改革調査特別委員会視察研修(苅田町)
- 2月12日(日) 行橋市老人クラブ連合会 新春演芸(カラオケ)大会

人事案件

令和4年12月23日、令和4年
第15回行橋市議会定例会におい
て議決を行い同意しました。
行橋市固定資産評価員の選任
末松 久典
(すえまつ ひさのり)



11/26 椿市交流センターイルミネーション点灯式



12/6 障害者週間啓発運動



1/8 行橋市消防出初式



1/8 行橋市二十歳のつどい

議案の審議結果一覧

令和4年12月第15回定例会 12月6日～12月23日



記録的寒波襲来
令和5年1月下旬、
行橋市は記録的な
寒波に見舞われました。

全員一致で可決等された議案

提案者：市長

- 議案第70号 行橋市工場立地法地域準則条例の制定
- 議案第72号 地方公務員法等の改正に伴う市の関係条例の整備に関する条例の制定
- 議案第73号 行橋市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第75号 行橋市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第76号 行橋市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第77号 行橋市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第80号 市道路線の認定、廃止及び変更
- 議案第81号 行橋市民体育館外部等改修工事請負変更契約の締結
- 議案第83号 令和4年度行橋市国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第84号 令和4年度行橋市・苅田町・みやこ町介護認定特別会計補正予算
- 議案第85号 令和4年度行橋市介護保険特別会計補正予算
- 議案第86号 令和4年度行橋市後期高齢者医療特別会計補正予算
- 議案第87号 令和4年度行橋市水道事業会計補正予算

市議会のホームページが 新しくなりました

ホームページのリニューアルが行われました
新しいページはこちらからご覧いただけます

行橋市議会ホームページ

<http://www.city.yukuhashi.fukuoka.jp/site/sigikai/>



本会議で賛否が分かれた議案

○…賛成 ×…反対 提…提出者(賛成)

件名	提案者	結果	会派/議員名			政友会			市民の会Ⅱ			清流会Ⅱ			清流会		諸派			
			豊瀬 尉	田中 建一	藤本 廣美	小見 祐治	二保 茂則	鳥井田 幸生	藤木 巧一	瓦川 由美	澤田 保夫	井上倫太郎	西田 憲司	矢野 潤一	面岡 淳輔	小原 義和	小堤 千寿	徳永 克子	大池 啓勝	小坪 慎也
議案第71号 市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	市長	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	○	×
議案第74号 行橋市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	○	×
議案第78号 行橋市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定		否決	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
議案第79号 行橋市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第82号 令和4年度行橋市一般会計補正予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第88号 令和4年度行橋市一般会計補正予算(第6次)		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	×	○	○	
議案第89号 行橋市固定資産評価員の選任		同意	無記名投票による採決のため、賛否は特定できません。																	
議案第90号 職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会の設置	議員	可決	○	提	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
意見書第8号 建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める国への意見書		否決	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	-	×	提	×	×	提
意見書第9号 消費税インボイス制度実施の凍結を求める意見書		否決	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	-	×	提	○	×	提

※議長(小原義和)は採決に加わりませんが、可否同数の場合は、議長において可否を決定します。

タブレットを活用した 議会運営を進めています

令和4年12月定例会より、行橋市議会ではタブレットを活用した議会運営を開始しました。これにより、情報提供の効率化や会議資料のペーパーレス化のほか、災害時における迅速な情報伝達などさまざまな効果が期待されます。

運用に先駆けて令和4年11月22日(火)タブレット講習会を行いました。



タブレット講習会の様子